

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛の家

**目標達成計画書**

作成日: 平成 23 年 05 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	スプリンクラーも設置し、昼夜を想定した避難訓練を、併設施設職員の協力で、実施しているが、地域住民の協力と参加を得て、避難訓練を実施していく。	運営推進会議委員や、地域の方に声をかけたり、いざという時のお願い等、日常的に近隣住民の方と、連携を取りながら、非常災害時の避難体制の確立を目指す。	12ヶ月
2		職員の技術力と人間性の向上を目指す。	習熟度や経験年数等で、職員の質が均一化していないので、利用者の介護サービスの質の向上を目指し、技術指導の徹底と、職員一人ひとりの人間性の確立。	外部、内部の研修会に職員の参加と、他グループホームに職員が相互訪問等で、得た知識を、利用者一人ひとりの介護サービスに活かしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。